

第8回「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」

in福井

20161126~27

第8回 「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」in福井
～つなげよう人と地域、めざそう夢のあるまちづくり～

少子高齢化の進展や地方都市における中心市街地の衰退、地域公共交通サービスの低下などの問題が深刻化する中、地域活性化への取り組みや健康で安全な暮らしの確保については以前にも増して都市の重要課題となっています。これらの課題解決に向け、環境負荷の低減や地域活性化に資する“人と環境にやさしい新たな交通システム”の導入が求められており、また近年は自転車交通のあり方やその役割についての議論が行われています。

このような中、交通結節機能の強化など新たな公共交通ネットワークの構築に取り組んでいる福井市において、研究者、行政、事業者および各地で活動する市民が一堂に会し、議論の場を設定することは大きな意義があるものと考えられます。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

開催日時 2016年11月26日(土) 午後:エクスカーション、夕方:交流会
27日(日) 10:00~17:00 研究発表大会・フォーラム

会場 福井駅周辺 AOSSA・ハビリン

プログラム 交流会(AOSSA 8F) / 研究発表大会(AOSSA 6・7F) / フォーラム(ハビリンホール)

参加費 無料 ※エクスカーション、交流会、研究発表大会、フォーラム資料の費用は別途

主催 「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会 in福井」実行委員会
人と環境にやさしい交通をめざす協議会(交通まちづくりの広場)
NPO法人ふくい総合産業とまちづくりの会(ROBA)
委員長 川上 洋司(福井大学大学院 教授)
副委員長 村上 義典(福井大学大学院 准教授)
竹内 裕一(人と環境にやさしい交通をめざす協議会 代表幹事)
内田 隆次(NPO法人ふくい総合産業とまちづくりの会 会長)

協賛 公共交通システム推進協議会(社) / 全国都市交通推進協議会 / (公社)日本交通計画協会

協賛 国土交通省 / (株)日本総合交通銀行 福井県、福井市、越前市、鯖江市、津久井市、あわら市、福井市、高平町、福井県工業連盟 / 全国都市交通推進協議会(フォーラム) / NPO法人ふくい総合産業とまちづくりの会(ROBA) / 福井県バス(株)、まちづくり福井(株)、福井県環境政策サポート団体協議会 / えちぜん鉄道沿線サポート団体協議会

協力 (公社)福井観光コンベンションビューロー

第8回 「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」in福井

プログラム

11/27 (日)

1 研究発表大会
時間: 10:00~12:30
会場: AOSSA(アオッサ) 6F-7F
福井市幸手1丁目 山内福井駅東口

交通やまちづくりに関する研究、国内外の知見・情報などをテーマ別のセッションに分かれて発表するもので、参加者との意見交換・交流の場となります。

2 市民フォーラム
時間: 13:30~17:00
会場: ハビリン3F ハビリンホール
福井市中央2丁目 山内福井駅東口

1.開会挨拶 川本 義海 大会実行委員長
来賓挨拶 栗村 新一氏 福井市長
議長 藤正 氏 国土交通省大臣官房技術管理官

2.基調講演
「人口減少社会を希望に
——ローカル化時代のコミュニティとまちづくり」
広井 良典 氏(京都大学このころの未来研究センター 教授)

3.パネルディスカッション
「つなげよう人と地域、めざそう夢のあるまちづくり」
コーディネータ: 宇都宮 淳人 氏(福井大学 教授)
パネリスト: 原田 祥 氏(東京大学大学院 教授)
種崎 空記 氏(福井県総合振興部交通まちづくり課 課長)
中西 賢也 氏(福井県警察 警部)
和田 高徳 氏(えちぜん鉄道沿線サポート団体協議会 会長)
村田 治夫 氏(福井鉄道 代表取締役社長)
伊東 孝志 氏(えちぜん鉄道 専務取締役)

4.閉会挨拶 川上 洋司 大会実行委員長

会場へのアクセス

- JR福井駅下車西口・東口 すぐ
- 小松空港から 空港バス 福井駅東口下車すぐ
- 高速バス 福井駅東口下車すぐ

エクスカーション 11/26(土) 13:00~17:00
福井鉄道-えちぜん鉄道相互乗り入れ体験乗車
えちぜん鉄道津幡見学
■集合場所:えちぜん鉄道 福井駅 12:45
■参加費:実費1,400円 ■定員50名

交流会 11月26日(土) 18:00~20:00
■会場:アオッサ(AOSSA) 8F
■参加費:5,000円 ■定員100名

事前参加申込
■申込専文
<http://www.yasashi-transport.net/>
<http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>
■FAX:0776-37-3328
E-mail:roba@mbh.nifty.com

「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会 in福井」実行委員会事務局
NPO法人ふくい総合産業とまちづくりの会 〒918-0031 福井市幸手1丁目1905番地03
TEL 0776-25-7968 FAX 0776-37-3328 roba@mbh.nifty.com http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/

☆☆活動報告☆☆

- 10月21日 出前講座 湊小学校
- 25日 人と環境にやさしい交通をめざす全国大会実行委員会
- 11月2日~12月11日 みんなの活動パネル展
- 11月15日 ROBA11月例会・理事会
- 人と環境にやさしい交通をめざす全国大会実行委員会
- 出前講座 宝永小学校

☆☆今後の予定☆☆

- 11月26(土)~27日(日) 人と環境にやさしい交通をめざす全国大会 in 福井
- 12月20日(火) ROBA12月例会・理事会

バスで地域の活性化！

高岡のグルメ会員、善光です。さて今回はバスを楽しみたいと思います。

何かと嫌われている“バス”ですが、これを思いっきり地域の活性化に活かそうと取り組んでいる地域があります。場所は、滋賀県の湖東・南部にある琵琶湖博物館。9月に行ってきました！ JR東海道本線・草津駅から近江鉄道の路線バスが出ています。日中は毎時30分発のパターンダイヤで、分かりやすい。帰りも1本分だけ覚えておけば良いので、本数が少なくても便利ですね。このバスは、付近に広い道があるのに「え！ こんなとこ走るの？」と、とんでもなく狭い田んぼ道を大型バスが我が物顔で行く“変”な路線です。

さて、この博物館では、嫌われ者のバスを何とかしようと取り組みを進め、ついには食べてしまえ！・・と言う事になりました。そして館内のレストラン「にほのうみ」で販売する事になったのです。その名も“バス天井”。・・・え？ 何か変ですか？ 琵琶湖、嫌われ者、バス。もちろん「おさかな」でギョざいますよ。ブラックバス・・・。ギョぞんじですよ？ 琵琶湖の生態系を荒らすと言われる外来魚の嫌われ者でギョざいます。その嫌われ者をまちおこしに使う。捕ったバスを、廃車・解体・・・ではなく、廃棄していたものを、小まめに処理・味付けをして提供。それが話題とお客さんと呼ぶ。すっギョク妙案でギョざいますね。バスを味付けて唐揚げにし、どんぶりにしたもの。まずくはなく、あっさり系白身で、なかなか美味しい。路線バスで来たのでビールも飲めるでギョざいます。バス天井にビールは合いますねえ。最高！ ギョギョギョ！

この博物館、琵琶湖や周辺地形の生い立ち、沿岸の歴史、動植物生態などがよく分かります。立派な淡水系水族館もあり、なかなか楽しめます。みなさんも、環境にやさしいバス（乗合自動車）に乗って、環境を破壊するバス（おさかな）を食べに行きましょう！

あ、もうちょっと。琵琶湖は広くて、海の様ですが、さて滋賀県の気象情報（天

気予報)で“波浪注意報”は出るでしょうか?・・・ 答えは、“出ない”。そもそも滋賀県には波浪注意報の設定自体が無いそうで、あくまで“海上”と“海岸”向けの様です。また琵琶湖は、風が無くても遠くから来る“風波”の寄せ集めの“うねり波”が無いらしく、風が無い=波が無い、だそうで、強風注意報が出れば、吹き付ける側の湖岸は波が高くなると判断する様です。つまり滋賀県(琵琶湖)では、強風注意報=波浪注意報なんですね。また、強風注意報=湖西線・運行を見合わせるかも注意報、でもある様です(笑)。

ついでに、琵琶湖は法律上、淀川水系の一級河川、つまり幅の広~い“川”です。名称は「一級河川・琵琶湖」なんです。

へ~、そうなんだ、琵琶湖・・・琵琶川?



くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2016 参加報告

去る10月29日・30日に東京の東洋大学白山キャンパスで開催された「くらしの足をみんなで考える全国フォーラム2016」に参加して参りました。実はもともとはポスターセッションへの参加のお誘いを頂いたのが参加のきっかけでした。10月に高岡で開催された全国まちづくり会議のポスターセッションで、その取り組みの重要性を認識し、今回のフォーラムに急遽参加してきました。

フォーラムについては交通事業者、行政、学識経験者、NPO、市民にわたる大きな全国ネットワークが出来上がっていること、そしてそこでいろいろな情報・理論・ノウハウの共有と蓄積が進められていることにたいへん感銘を受けました。

また、開会の挨拶や講演でもかなり刺激的でスリリングな展開のお話しが聞けました。実行委員長で福島大学国際地域学科教授の「住民の要望とニーズはイコールではない」「住民参加は基本。今回は焦点ではない」。国土交通省総合政策局公共交通部長の松本年弘氏の「自家用車を運転できない高齢者が増える。自治体が主体で必要な公共交通を確保する必要がある。自治体の財政出動が必要だが、それほど多額ではない。首長は取り組みを。住民も主体的に議論に参加し、乗ることが必要。自動運転はまだ先」。福島大学経済経営学類准教授の「サービスを1%減らすと乗客は1.4%減る」などなど。ROBAとの共通認識も広範囲にわたり、共感することも多くありました。

さらに、個人的には、若桜鉄道の山田和昭社長ともお話しできたのですが、山田社長はえちぜん鉄道発足につながる合意形成の過程でコーディネーターが大勢出現した様子に興味を持たれていました。今後、福井にいらっしゃることを計画されているようです。



ポスターセッションでは、私は間を置かずずっとしゃべりっぱなしでした。感激したのは学生さんが何人も話を聞いてくれ、私もいろいろな話を聞いたことです。東洋大学や福島大学の学生さんなど何人もがえちぜん鉄道の研究をされており、またLRTの研究をされていました。若い人たちの中にこの分野を「熱心に」研究されている人たちが結構存在するのだということをととても心強く思いました。いろいろな方とお話しできたこと

とともに、それが大きな収穫でした。ポスターセッションは重要な「場」だと思います。参加させて頂き感謝致します。ポスターセッション参加は62団体だったそうです。ポスターセッションには宝田さんと2人態勢で臨みました。写真は連絡を取り合って参加した金沢の毛利さんが撮影してくださいました。

(文・清水)

出前講座 湊小学校

内田佳次

平成 28 年 10 月 21 日 14:00~14:45 湊小学校 5 年生の 2 クラスを統合した形で出前講座を開催いたしました。椅子のある教室ではなく課外活動をする場所で、画像のとおり床に座って行いました。

約 50 名の生徒が参加いたしました。講師は福井市地域交通課八木さんが行い、地域交通課職員 2 名と ROBA 内田がバックアップを行いました。冒頭、恒例になりましたクイズを行い一気に生徒は話の中身に入って行きました。

- ・ 福井市内のバス電車
- ・ 湊小学校の地域を走る公共交通の紹介
- ・ バス電車が人にやさしい理由
- ・ バス電車の車内でしてあげられること

といった流れで授業が進められました。

こちらか質問をすると、元気よく手が挙がり小学生の授業の雰囲気を楽しむことができました。



★ 友ちゃんの珠洲特派員報告 第22号★

能登の風景と結婚式

能登には自然が作り出す美しい風景が溢れています。先日、私の友人が屋外でのアウトドアウエディングを行いました。能登の里山の風景をバックにとても素敵でした。青い空に山々の緑、真っ白なテーブルクロス。花嫁の真っ白なウエディングドレスが映えます。



最近多くなっている屋外でのアウトドアウエディング。もしかしたら、アウトドアウエディングと能登の風景は相性が良いかもしれません。珠洲市にもたくさん適した場所がありそう♪結婚式まで行かなくても、写真として残すときの背景としても能登は最適！別の友人カップルは珠洲市で前撮りをしていて、これが、また素敵でした～。たくさんの場所が絵になる珠洲市なら、おめでたい結婚式に関連していろんなことが考えられそうです。



作／漆寄 耕次

編集後記・・・編集委員より一言

内田（発行責任者）

「『今年は秋が短いね～』と、TVのコメンテーターの話。そう言えば春も短かった、ような。四季が分かり難くなってきた、ってことお？」

林(変集長)

「免許返納はいつにしようか考えています！」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>